



菅野くんのスティックブロッコリー



花蕾には栄養が多く旨味がギュッと詰まっています、菜花のような苦みは無くほのかな甘みもあります。



スティックセノールより晩生のアルックは今が旬。3月いっぱいには出荷出来る予定です。



就農2年目に入る菅野君です。応援して下さいね。

★2年目、気持ちも新たに頑張ります！

おかげさまに新規就農して1年が経った菅野君ですが、1年目はかつてない程の災害の年でした。特に台風15号ではナスがやられ、蒔いたばかりの小松菜は壊滅、ハウスマも壊されるなど散々でした。8月に種を蒔いて育苗し畑に植え付けたばかりのスティックブロッコリーも被害を受け、「被害を受けたものは、今もやはり小さいままですね」と未だに尾を引いています。

新規就農した1年目にして大きな洗礼を受けた菅野君ですが、1年を振り返って「収穫の手間を考えていましたが、もっとどんどん種を蒔いて野菜を育てた方が良いと思いました」とのこと。1年の経験を基に決意を新たにしています。

そんな菅野君のスティックブロッコリー「アルック」が好評です。スティックブロッコリーは次々と出てくる小さな花蕾を摘み取って食べるブロッコリーに似た野菜。その中でもアルックはブロッコリーと栄養価が豊富で青汁などに使われる事で有名なケールを掛け合わせた品種。菅野君も「緑黄色野菜の中で栄養価は飛び抜けているので、食べて健康になれる野菜だと思います」と言う通り、蕾にはブロッコリーの約3倍の加熱やびタミンKがあるそうです。

約600本の苗を植えましたが、今がちょうど旬の時期で、注文と収穫量のバランスが合っていて手応えも感じているようです。

「味も濃く歯触りも結構あるので、茹でてもへたれず、美味しいですよ」という菅野君。2年目のチャレンジを頑張れるよう、みなさんも応援して下さいね。

おかげさま農場は「食は命」をテーマにしています。化学合成農薬や化学肥料を使わないことを基本としています。

【産地情報】

◎昨年の台風の影響でお休みとなっているキャベツは、3月16日頃から出荷再開予定です。